

せしめんためには、圖の如くオイルのパイプをして、爐上に一回轉せしめて爐の熱を利用して油を温めて居ります。此れは夏期に於ては餘り出過ぎる憂がちりますが、冬は結果頗る良好です。

一體 Oil furnace の操業には油及空氣共 150—175 に餘熱して用ふる方が好いと言ふ事であります。空氣の方を餘熱しますと空氣中の水分が蒸發され、且多少共爐の溫度を下げる事少なく理論上にも實際上にも効果を認めます。

次に一二の不便を除くために圖の如きタンクを作り、上部を地面と同じ高さとして重油樽より直に漏斗に依りタンクの中に注入する事と成し、此のタンクは壓搾空氣により十五封度以下の壓力を保たしめて爐に送る事にしました。爐に入る前に爐上にて豫熱する事前記の通りです。

空氣を直接タンクに入れる事と油と drain Water とが混合する心配あるため、タンクの一部を仕切つて drain water をとる事にしてあります。

タンクより爐に至るパイプは地下二尺に埋めて寒冷を防いで居ります。(下表参照)

—工事タイムス—

丹那トンネル 電化工事着手 丹那トンネル開通の曉には東海道本線となるべき熱海沼津間十三マイルの運氣運輸設備工事は何分同工事が世界的難工を續けてゐるので鐵道省電氣局では着工を手控へてゐたがこの程同トンネルの延長二萬五千六百十四尺中、殘餘の部分は二千三百尺となり昨秋の豆相大震災の際の大破壊や斷層露出を見た西ノ口のセメント注入工事も順調に進歩し同トンネル貫通の確信を得たので愈々建設局の希望により電氣局では電化工事に着手し既に未掘鑿區間を除く部分は架線工事を開始するばかりの状態に立至つてゐる。同トンネルは複線として世界第九位清水トンネルに次いで東洋第二の大トンネルで過般電化した鉢子を加へて本邦の代表的大トンネルは悉く電化されることとなる。

郊外鐵道 東京郊外鐵道では既報の如く舊濵谷急行電量測開始 鐵の免許線である濱谷を起點として吉祥寺に至る間を第一期工事区域としていよいよ敷設工事に着手することゝ内定、且下測量隊を組織して實地測量を開始してゐる敷設哩數は約十二三哩内外である。

十一月中 D.F.E Oil Aurge 使用成績

月日	管径 4 1/4"	b/t 修理數 7/8"	使用量 1'"/ストロー 用 7/8"	操作時間 Shank修理工 1 1/4" 7/8"	重油用		升
					古16	新20	
2	355	263	90	10	65	65	
3	250	245	70	6.5	43	43	
4	190	320	11	55	50	50	
5	300	265	90	7.5	43	43	
6	320	300	18	7	43	43	
7	350	220	110	4.5	55	55	
8	33	250	80	8.5	12	63	
9	335	285	100	40	105	9	70
10	333	165	70	古40 新70	7	50	
11	290	220	40	15	35	7	50
12	290	265	95	18	10	65	
13	388	295	88	9	60	60	
14	360	260	85	12	75	75	
16	489	342	42	10	70	70	
17	390	240	50	10	70	70	
18	390	190	200	25	15	55	
19	325	200	215	50	11	70	
20	320	185	185	100	8	50	
21	315	233	233	25	8	50	
22	358	220	70	15	10	60	
23	355	188	90	7	50	55	
24	365	155	78	8	50	55	
25	358	175	75	20	6	60	
26	330	230	115	25	8	55	
27	360	235	80	10	9	60	
28	345	300	30	545	545	6升6	
29	370			58	58	1539	
合計	9186	6461	1671	58	545	545	
一時當							

以上

大阪城東線
高架工事

は五月廿、廿一の兩日十數社を指名して四工區夫々入札の結果第一工區錢高、第二高區奥村、第四工區今西、第五工區間に決定、目下着工準備中。

東京地下鐵の
上野省連絡

東京地下鐵が新築中の上野驛と地下連絡をなす事になつて設計の承認を受けると同時に施工一切を鐵道省に委託することとなり同省では第一改良事務所に命じて準備をして居たが今回着手するに決定し近々中に愈々入札を行ふ事となつた。

○札幌の電鐵工事

札幌市では失業救済の目的で多年懸案の電氣軌道新設工事を本年八月一日より實施することとなつた。

臺東線馬太鞍
鐵橋工事完成

臺東線馬太鞍鐵橋の架設工事は其の後工程を急いでゐたが既に鐵橋十二連全部の架設を終り昨今同漢南側の護岸工事並に山麓の新線路開鑿中であるが近く完了線路の敷設を爲し同時に新舊線路の切替を行ひ鐵橋を通じ北側の未完成線路二百米突の區間は線路の石垣造と同時に土盛工事中であるが七月下旬頃迄に竣工せしめる豫定であるから馬太鞍漢橋架設を中心とする全線新線の開通を見るのは七月末の見込みで最初の豫定に比して多少遅延する事となつた。

寫山縣の
橋梁事業

事業は昭和四年度から總工費百萬圓を以て九年度に至る繼續事業として施行中であるが、六年度は十一萬四千圓をもつて六十五橋梁を架設することに決定、目下當局では實施設計を急い

であると。

大河津分水堰の
補修工事竣工式

信濃川大河津分水自在堰の補修工事は昭和六年六月新潟土木出張所の手で着手されて以來満三ヶ年餘と總工費四百四十六萬圓を費して最近新可動堰を完成し萬代不易の構造を誇つてゐるが去る六月二十日盛大なる竣工式を挙行した。

阿部野堺
線道開通

總工費
300萬圓
と延24萬
人を要し
て去四月
十八日開
通式を舉
げた大阪
阿部野堺
線道路工
事概要は
下記の如
し。

位置



大阪市住吉區阿部野筋六丁

日より堺市向陽町に至る。

延長6,471.8、有効幅員23米6

事業費総額 2,901,411圓。

起工昭和二年二月二十三日

竣工昭和六年四月十五日（寫真
は開通式。道路改良會都筑
通督氏寄）

兵庫縣道路
改修認可

兵庫縣當局より
豫て管内縣道の

改修を内務省に申請中であつたがこの程審査了し認可指令が發せられた、今回改修される縣道の内容次の如し

、寶塚池田線、自川邊郡川西町至同郡小濱村、幅五米四、延長三千九百六十七米三七、工費十三萬五千八百十九圓

大阪阿部野堺道路線

二、伊丹尾崎港線、自川邊郡伊丹町至尼崎市、幅員八米一、延長五千九百九十七米八、工費三十三萬一千三十三圓

三、高砂篠磨線、加古郡荒井村地内、幅員五米四、延長一千四百八十米、工費五萬六千八百四十五圓

四、同線篠磨郡白村地内、幅員五米四、延長一千六百九十三米五工

費四萬二千八百五圓
五、飾磨綱干線、自飾磨郡廣村至
葺保那火津村、幅員五米四、延
長千八百十九米、工費七萬五千
五百三圓

江原道の 救濟事業 濟土木事業は本年
度より三年間に亘り總工費三百萬

開通式の自動車



圓を以て実施することになつて
るが、本年度は九十三萬圓をもつて
先づ京城五里津線水害復舊工事に
約二十萬圓、金北忠一線に約三十
萬圓等その他道内主要路線の改修
または擴張等の工事を行ふ筈であ
ると。

松江市の 復興計畫 松江市大火罹災地
の復興計畫に就ては此程松江市會に於いて復舊整理

費豫算額三十万五千八百四十三
圓(うち市債三十八萬一千圓)に決
定したと。

河川委員會 九月開催か 全國各方面から
大きな期待が向
けられてゐる河川委員會は未だ委
員會官制も決らず勿論委員も任命
されてゐないが、大體右は五月中

行進

に決定を
見るもの
と豫想さ
れてゐた
處例の減
俸問題、
三政整理
等に禍さ
れて一時
停頓の状
態にあり
全國各地
の河川氾
濫、洪水
その他の
水害を一
掃すべく
高遠な理
想の下に
開催され
る事とな
つた該河
川委員會

がこの儘流產する事を可成り憂慮
する向きもあるが大體七月中旬に委
員會官制の制定を見る模様である
から九月頃迄には委員會開催の運
びに至るものと見られてゐる。

郡山市の 都市計畫 郡山市都市計畫道
路網は今月末迄に
決定する筈で委員會に提出承認を
求めた上直に内務省に提出する運
びであるが内務省に於いて決定さ

るれば本年末迄に更に委員會を開
催して十五ヶ年繼續事業とし愈よ
工事に着手する事となるが右に要
する経費は約三百七十萬圓である
宇治電氣の 小泉發電所 は愈々最近完成
しかけてから送
信省の検査を受けるべく落成届が
當局へ提出せられてゐたが、八日
九日の二日間検査が施行せられた
該發電所の出力は九百六十キロワ
ットにて發電所内全装置の操作は
自働式にて行はれることとなつて
ゐるが装置は比較的斬新的設計に
なるものでその成績に對しては期
待されてゐる。

廣島港修築 の認可促進 縣費三百五十萬
圓を投じて本年
から着手することになつてゐる廣
島港灣修築事業の起債認可促進等
につき伊藤廣島市長加藤市會議長
外市會議員は此程廣島縣廳に白根
知事、松村内務部長を訪ひ促進方
の盡力を依頼したと。

東京市廳舍 設計は懸賞 東京市廳舍は目
下促成委員會に
於て敷地物色中であるが他に適當
な候補地が見當らない限り現水道
局廳舍跡、月島芝浦兩地埋立地の
内何れいかに決定することとなる
が、敷地決定後の問題たる廳舍の
設計は前回の市廳舍建築案と同様
三萬圓程度を投じて設計圖案の懸
賞募集を行ふことに内定してある
が本月中には大體の敷地を決定す
べく從つてこれと同時に發表され
るものと見られてゐる。

同潤會分譲住宅 設計案募集 主として中
產以下の人々に長期月賦の方法で分譲する住
宅を目標とし、將來の日本小住宅
の歸趣の針路を示すものとの要旨
を以て、三、四、五、室の小住宅設計
圖案を募集中である。一等二百圓
以下五十圓まで十二名入選。